

3 いしかわ子育て広場

サロン運営団体名称 **石川地区コミュニティ連絡協議会**

サロン開設年月	平成26年10月
開催日及び開催頻度	月2回(第1・第3水曜日) 10時00分～12時00分
開催拠点	水戸市石川市民センター
代表者氏名	飯田 康一
1回の参加人数	平均30人
1回の運営スタッフ数	平均5人
参加費 (1人1回あたり)	0円

水戸市



目的(趣旨)

- 未就学児の子育て支援。
- ワンオペ育児といわれる母親に、子どもと離れ、リフレッシュすると共に、料理等ステップアップしてもらう。

生活課題への対応

- 核家族化が進み、孤立する親子が増えている中、育児に関する悩みを少しでも解消する場となること。
- 短時間でも子どもと離れる時間をもつことでリフレッシュして元気に育児に取り組んでもらう。手料理の良さの再認識。



内容

- 未就学児とその親が気軽に来遊び、交流する場を提供する。
- 広場開催2時間のうち、30～45分程度、母親だけの料理教室に参加してもらう(希望者のみ)。

社会資源の活用

- 市民センターを会場とし、石川地区女性会を中心とした地域のボランティアに見守りを依頼。
- 市民センター調理室を活用。

継続性

- 市民センター協力のもと、会場確保や、回覧を使って広報、問い合わせに対応している。
- 今年度は料理教室2回だが、今後は、クラフト講座やフラワーアレンジメント等興味をひく内容としていく。

財源の確保

- 水戸市、水戸市社会福祉協議会、石川地区コミュニティ連絡協議会。
- 上記の財源の他、フラワーアレンジメント等材料費がかさむ際は、少額の参加費徴収も検討する。

PRポイント

- いつも楽しい雰囲気の中で、お母さん達が安心して利用でき、親も子もリフレッシュできる場となるよう心がけている。このサロンで親になった母親同士が情報交換したり、小さな不安とちょっとした悩みを子育て豊富なボランティアに話したりすることで、笑顔になる場面も良く見られる。SNSの普及で少なくなりつつある、人と人が直にふれあう機会となっていて、その大切さを感じられる場となっている。

先進性

- 年間8回位、親子体操や親子ヨガの講師を招き、無料で専門的指導を受ける機会がある。
- 単なる遊びの場を提供するだけでなく、カルチャー教室という母親向けの学びの場を提供する。

独自性

- 子どもが主役であるが、親が元気にして良い子育てをしてもらうことにも視点を置き、親へのクリスマスプレゼントやクリスマス写真撮影コーナーを設ける等取り組んでいる。
- 子どもを良い社会人として育てる為には、しつけをする根気のある育児が必要で、その為には親が心身共に健康であることが大切である。心の折れない子育てをしてもらう為に、親に元気になってもらうことを目指している。



これからサロン活動を予定している方へのメッセージ

- 核家族化が進み、子育ての手助けをしてくれる家族や親戚が近くにいないお母さん達は、心の拠り所を求めています。親戚のおじちゃん、おばちゃんになったつもりで、子ども達の成長を見守りましょう。ただし、お節介な口出しは控え、寄り添うことを心がけて。

★助成金の活用によりパワーアップした活動

- 「ママカルチャー」と銘打って、お母さんたちが子どもと離れ、料理に取り組む機会を作ることができた。3～40分という僅かな時間だが、一人で過ごす時間は気分転換になり、前向きに育児に取り組むことができると思う。子どもは、お母さんと離れるとほとんどの子が泣きじゃくるが、最終的には泣き止んでボランティアと遊ぶことができている。離れる時間を持つことで、親も子も自信が持てるようになっていくことがわかる。

